



平成 28 年 12 月 7 日

各 位

会 社 名 巴 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 山 本 仁  
(コード番号 6309 東証第一部)  
問 合 せ 先 経 理 担 当 取 締 役 矢 倉 敏 明  
(Tel 03-3442-5127)

中期経営計画（平成 28 年 11 月～平成 31 年 10 月）の策定について  
「Challenge For Change ～変革への挑戦～」

当社は、このたび平成 28 年 11 月からの 3 年間を対象とする第 11 回中期経営計画「Challenge For Change ～変革への挑戦～」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 基本方針

当社グループを取り巻く経営環境が激しく変化する中、これに対応し得る機動性や俊敏性を養い且つこれまで培って来た経験や知識を最大限活かし新たな取り組みに積極的に挑戦し、さらに一層の収益基盤の強化と効率的経営の実践により持続的な企業価値創造を目指すことを基本方針とします。

2. 業績計画

機械事業では、東南アジア市場や中国市場を中心とする海外市場への販売拡大と国内官需向け低動力型高効率遠心分離機の一層の拡販及び国内民需向け石油化学、排水他分野への販売強化を主な戦略とします。

化学品事業では、第 87 期に設立したタイ現地法人を軸に東南アジア市場を中心とする海外売上高の拡大及び既存事業の深耕拡大と付加価値の高い機能的商材や顧客の開拓による事業規模拡大を主な戦略とします。

これらの施策により、最終年度となる平成 31 年 10 月期（第 90 期）の連結売上高を 460 億円、同経常利益 20 億円とし、本中期経営計画を「Challenge For Change ～変革への挑戦～」と称して推進して参ります。

・数値目標（単位：百万円）

|           | 第87期実績 |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|
|           | 機 械    | 化 学 品  | 合 計    |
| 売 上 高     | 10,178 | 29,002 | 39,180 |
| 営 業 利 益   | 403    | 1,566  | 1,970  |
| 経 常 利 益   | —      | —      | 1,780  |
| 当 期 純 利 益 | —      | —      | 968    |



| 第90期計画 |        |        |  | 87期比<br>(%) |
|--------|--------|--------|--|-------------|
| 機 械    | 化 学 品  | 合 計    |  |             |
| 12,000 | 34,000 | 46,000 |  | 17.4        |
| 600    | 1,400  | 2,000  |  | 1.5         |
| —      | —      | 2,000  |  | 12.3        |
| —      | —      | 1,300  |  | 34.2        |

### 3. 重点施策

#### ① グローバル化推進を継続します。

機械事業については、東南アジア、インド、中東を中心に販売力、開拓力を有する代理店による販路拡大に注力する他、中国ビジネスを維持・拡大するための新たな展開に取り組み、また北米及び中南米においては油井向け以外の事業分野の開拓を図ることなどにより販売増大を図ります。

化学品事業については、第87期に設立したタイ現地法人の経営基盤を強化した上で営業展開を図り東南アジアを中心とした販売拡大を目指します。その他アフリカ、ロシア等での既存ビジネスへの取り組みを強化し事業拡大に繋がります。また、中国深圳事業に関しては、星際コンパウンド工場移転後の運営安定化を図り、さらに生産体制や品質管理体制を強化した上で新規顧客向け量産と既存顧客向け底上げに注力します。

#### ② 経営資源を有効活用し、事業の選択と集中を推進します。

マーケット分析を通じその成長性を見極めた上で、これに応じた効率的なリソースを投入する一方、収益性・成長性が乏しいと見られる事業については縮小等の施策を講じるメリハリのある経営を実践します。

#### ③ 将来の成長に資する投資案件開拓に積極的に取り組みます。

将来の成長に資する投資（企業買収、業務提携他）に積極的に挑戦しこれを実現することにより更なる事業拡大に繋がります。

#### ④ 経営基盤の強化を図ります。

明確なビジョンのもと、社員の自立性・創造性の向上を図り、的確で迅速な戦略を実行します。また、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を尊重し、実効的なコーポレートガバナンスを実現することが経営上重要な課題と認識し、企業価値を継続的に向上させ、株主を始めとする当社のステークホルダーの期待に応える経営を推進します。

⑤ 収益向上により、資本効率や資産効率の改善に繋がります。

業績計画で掲げた経常利益、当期純利益等の数値目標の実行の他、投資案件への積極的取り組みによる資本効率向上、棚卸資産等の適正管理による資産効率向上を図ります。その結果として ROA と ROE の改善を見込んでいます。

(ご参考) ROA および ROE の改善見込み

|     | 第87期実績 | 第90期見込 | 改善見込   |
|-----|--------|--------|--------|
| ROA | 2.8%   | 3.5%   | +0.7pt |
| ROE | 3.8%   | 4.8%   | +1.0pt |

⑥ グローバル化に対応可能な人材及び将来経営を担う人材の育成強化に取り組みます。

重要戦略のひとつとして位置付けるグローバル化に対応出来る人材の育成を強化します。また、経営を担う幹部社員を計画的に育成することを推進します。

以 上